

## ことしの課題

### 積極的予算を編成

新年度一般会計予算額は約八億八千万円

昭和三十九年度の新予算案は、この三月定例市議会本会議に提出され、それぞれ慎重に審議されますが、漆畠市長は過日開かれました全員協議会の席上、三十九年度予算案についてその概要を説明しました。この新予算案は、昨年末に各課長から提出されましたがその要求総額は実に十億五千万円にのぼりました。しかし財源を八億五千万円程度に見積りますと約二億円を削減しなければならない状況下にありますので、第一次、第二次査定を終え、漸く最終決定を見るに至りました。

さて昭和三十九年度、すなわち本年四月から明年三月末までの向う一年間における富士市では大体つぎのような仕事を実施しますがその主なものあげてみますと

取り上げこれらを中心積極的に押し進めていくことになります。六百万円が増額の見込みです。

これは、国家公務員に準じてのベースアップが主なもの

### 歳入

### 一日30トン処理

市税収入 は、電気ガス税の税率1%の引下げにより

約一千万円の減収が見込まれ、またタバコ消費税は税率一・六%

の引上げにより約四百万円が増収となりますので差引約六百万円の減収ということになります。

従つてその他の自然増収を含めますと大体、三十八年度の実績とほぼ同じの四億八千

万円程度一杯を見込んでいま

す。

衛生費 一一本年度は、一日三千トンを処理できる斎場建設するため約三千万円の事業費が見込まれています。

農林水産費 一一野菜生産安定推進事業の補助金として

商工費 一一中小企業の振興の立場から新規事業として

建設費 一一部事務組合の設立を計画し

病院、教育委員会を除き約一億市場の上屋については吉原市

### 身体障害者の相談日

◇日時 毎月20日  
午前9時～正午まで  
◇場所 富士公民館

と共同で施設するよう計画が進められています。

商工費 一一中小企業の振興の立場から新規事業として

小口資金協調融資制度を採用し、小規模事業者に対する事業資

金の円滑化をはかりたい。

として下さい

### 建築確認申請

(建築届) 建物を建築する場合には必ず



消防署「紙上公開シリーズ」②

### 通信勤務

#### 舞台裏の通信担当者

消防署えかかるあらゆる通報、連絡等はすべて通信室え送り込まれ、又消防署から出す指揮、指令、連絡も通信室から発せられます。この通信勤務は消防署の耳と口の役割を果しておきます。勤務は1時間交代制で24時間火災通報の受信態勢がとられております。勤務員は、これらの通報、連絡、指令を最も正確に且つ迅速に受理し処理する責任と義務をもつております。特に火災通報を受信するときは、通報者が落書きを失い言葉に乱れを生じ易いので沈着、冷静に接受する様訓練習熟されてなければなりません。通信室には一般加入電話2台火災報知専用電話1台、無線電話基地局が設置されております。その外火災信号用サイレンの吹鳴装置もあり、勤務員はこれら設備、装置の機能取扱要領を知得しておかなければなりません。特に無線取扱については無線技士の資格が必要となっております。このため毎年4名程度の嘱託が資格取得のため研修派遣しております。

パパさんタバコママさんこたつ、

一家そろつて、火の始末

(昭和38年防火標語入賞作品南中学校市川与志江)

#### 3月7日は「消防記念日」

消防記念日とは、消防組織法が施行され、消防の仕事は市町村の責任において運営管理される市町村消防制度が確立された日であります。火災を発見したら「火事番」へご連絡ください直ちに通信室につながります。

(写真は耳と口の役割を果す通信室)

陸海空

自衛官採用

くわしいことは市民課へお問合せ下さい